

第3面

交通安全中心に貢献を

SDAが定時総会



浅野秀則理事長



北村博文警察庁交通局長



高市早苗衆議院議員

全日本デリバリー業安全運転協議会（SDA）は10日、東京都千代田区の新大塚で「平成31年度定時総会」を行い、2018年度

の事業報告および決算、19年度の事業計画予算案を原案通り、満場一致で承認した。

総会後の懇親会には、正会員・賛助会員など80人が参加した。

浅野秀則理事長（フォーシーズ会長兼CEO）や、高市早苗衆議院議員、北村博文警察庁交通局長らがあいさつした。

浅野秀則理事長の話
SDAは今年で26周年を迎えた。この間、業界を取り巻く環境は著しく変化し、目先には消費税や軽減税率の導入など、さらなる激変が控えている。そうした情勢の中でもデリバリー事業の根幹はや

はり「交通安全」。交通安全を中心に防犯や防災に貢献する活動に努めたい。

北村博文警察庁交通局長の話 昨年の交通事故死者数は戦後最低の3532人で1日10人を切った。15年前は

1日10人を切る日がなかったが、当協議会をはじめ多くの方の尽力により、いまや平均で10人を切り、死者数は3分の1に減った。当協議会の交通安全活動には大きな実績がある。同様の取組みが広がりさらに交通事故が減ることを願う。

高市早苗衆議院議員の話 当協議会の交通安全活動に尽力し、今年1月に緑十字金章（交通安全功労者表彰）を受章した大崎隆三名誉顧問に敬意を表す。本日の病欠は遺憾であり一日も早い回復を祈念する。

（岡安秀一）